

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成30年>>

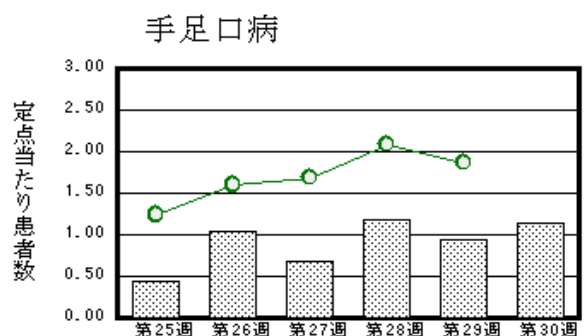
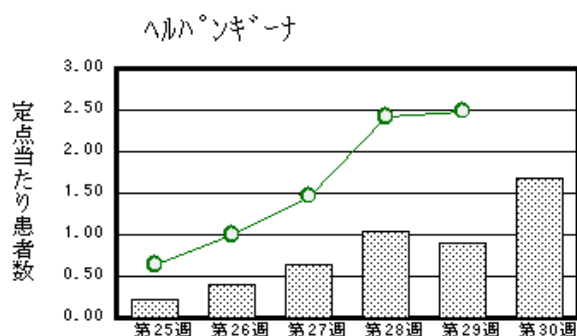
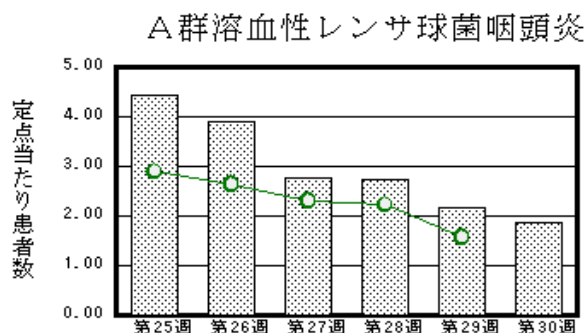
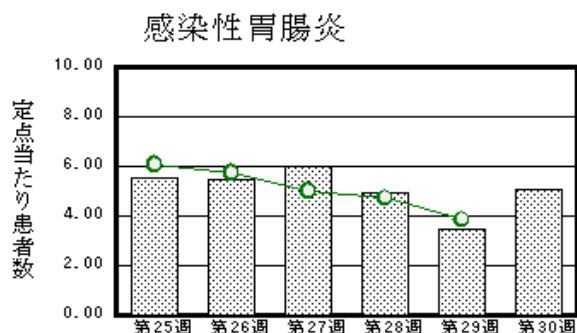
<週報> 第30週 (平成30年7月23日～7月29日)

発行日：平成30年8月1日

発行：福井県健康福祉部健康増進課
福井県衛生環境研究センター
kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】①感染性胃腸炎111名(5.05名) ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎41名(1.86名) ③ヘルパンギーナ37名(1.68名) ④手足口病25名(1.14名) ⑤RSウイルス感染症20名(0.91名)
()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(111名) ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(41名) ③ヘルパンギーナ(37名) ④手足口病(25名) ⑤RSウイルス感染症(20名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は111名です。定点当たり報告数は増加しました(3.50名→5.05名)。地域別にみると、二州地区14.00名、福井地区5.57名、坂井地区3.67名、丹南地区3.60名、奥越地区0.50名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は41名です。定点当たり報告数は減少しました(2.18名→1.86名)。地域別にみると、奥越地区6.00名、二州地区2.67名、福井地区1.57名、坂井地区1.33名、丹南地区1.20名の順となっています。
- 【ヘルパンギーナ】報告数は37名です。定点当たり報告数は増加しました(0.91名→1.68名)。地域別にみると、坂井地区2.33名、二州地区2.33名、奥越地区2.00名、福井地区1.71名、丹南地区1.40名の順となっています。
- 【手足口病】報告数は25名です。定点当たり報告数は増加しました(0.95名→1.14名)。地域別にみると、二州地区5.00名、丹南地区1.00名、坂井地区0.67名、福井地区0.43名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2018年第28週号(7月9日～7月15日)要点

発生動向総覧	<第28週> 流行性角結膜炎の定点当たり報告数は減少傾向であるが、過去5年間の同時期と比較してやや多い <6月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症について
注目すべき感染症	<今週は該当記事はありません>
感染症関連情報	◆海外感染症情報 ポリオの状況-2018年7月17日現在
速報	<今週は該当記事はありません>

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 1 名の報告がありました。
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- (なお、ライム病は第29週に 1 名の報告がありました。)
- 5 類感染症全数把握対象：報告はありませんでした。

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告：五類感染症(週報分)] 平成30年 第30週 平成30年7月23日(月)～平成30年7月29日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(29週)
インフルエンザ ¹ (35)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ ² を除く)									273 0.06
小児科 (22)	※1 RSウイルス 感染症	7 1.00	6 2.00	1 0.50	6 1.20			20 0.91	7 0.32	2388 0.76
	咽頭結膜熱	1 0.14	3 1.00		5 1.00	5 1.67		14 0.64	8 0.36	1727 0.55
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	11 1.57	4 1.33	12 6.00	6 1.20	8 2.67		41 1.86	48 2.18	4950 1.57
	感染性胃腸炎	39 5.57	11 3.67	1 0.50	18 3.60	42 14.00		111 5.05	77 3.50	12090 3.84
	水痘	2 0.29						2 0.09	7 0.32	896 0.28
	手足口病	3 0.43	2 0.67		5 1.00	15 5.00		25 1.14	21 0.95	5898 1.87
	伝染性紅斑									810 0.26
	突発性発しん	4 0.57	1 0.33		4 0.80			9 0.41	16 0.73	1483 0.47
	ヘルパンギーナ	12 1.71	7 2.33	4 2.00	7 1.40	7 2.33		37 1.68	20 0.91	7833 2.49
	流行性耳下腺炎	4 0.57			1 0.20			5 0.23	8 0.36	535 0.17
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎		*	*		*	*			9 0.01
	流行性角結膜 炎									560 0.81
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	1 0.50						1 0.17	1 0.17	7 0.01
	無菌性髄膜炎									29 0.06
	マイコプラズマ肺 炎					1 1.00		1 0.17	2 0.33	80 0.17
	クラミジア肺炎(オウム 病は除く)					1 1.00		1 0.17		1 0.00
	※2 感染性胃腸 炎(ロタウイルス)									5 0.01
	インフルエンザ (入院患者数)									※3

インフルエンザは、小児科定点+内科定点 *欄には定点はありません

細字は定点当たり患者数

(注) ※1は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

※2は、平成25年10月14日以降届出対象疾患。

※3は、2017/2018シーズンの全国の集計は第19週で終了いたしました。

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成30年第30週 平成30年7月23日(月)～平成30年7月29日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエ ンザ(鳥イン フルエンザ を除く)	小児科 定点	※1 RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルペ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	※2 感染 性胃腸炎 (ロタウイ ルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月	3										～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月	4	2		3		3		3	2		～11ヶ月									
1歳		1歳	8	6	3	22		5		3	10		1歳									
2歳		2歳	2	1	5	20		8		3	14		2歳									
3歳		3歳	1	3	6	17	1	1			1	2	3歳									
4歳		4歳	1	1	8	12		2			6		4歳									
5歳		5歳			6	3		2			1	3	5歳									
6歳		6歳			4	3		1			2		6歳									
7歳		7歳			1	4		1			1		7歳									
8歳		8歳	1	1	2	3		1					8歳									
9歳		9歳			1	5							9歳									
10～14歳		10～14歳			3	11	1						10～14歳						1			
15～19歳		15～19歳				1		1					15～19歳									
20～29歳		20歳以上			2	7							20～29歳									
30～39歳													30～39歳					1				
40～49歳													40～49歳									
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳									
70～79歳													70歳以上			1						
80歳以上																						
合 計		合 計	20	14	41	111	2	25		9	37	5	合 計			1		1	1			
前期計		前期計	7	8	48	77	7	21		16	20	8	前期計			1		2				
当期間/前期	***	当期間/前期	2.86	1.75	0.85	1.44	0.29	1.19	***	0.56	1.85	0.63	当期間/前期	***	***	1	***	0.5	***	***	***	
増減数		増減数	13	6	-7	34	-5	4		-7	17	-3	増減数					-1	1			

(注)※1は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が“0”のとき

※2は、平成25年10月14日以降届出対象疾患